

森の恵みと全国育樹祭

第39回(平成27年)全国育樹祭が10月11日に岐阜県の揖斐川町で開催されます。
この機会に、林野庁長官と俳優の竹下景子さんとともに、日本の森の現状と未来を考えるシンポジウムを「森の国、飛騨」で開催します。森林の多面的機能の発揮に注目が集まる昨今、それらの具体的な取り組みをおこなっている団体の事例発表および林野庁長官や竹下景子さんとの鼎談を通して、「育樹」=「森林を育てることの本当の意味」が語られることでしょう。

日時：
2015年 **8**月 **9**日(日)
13:30-15:30 入場無料

場所：
高山市民文化会館 大ホール
高山市昭和町1-188-1 TEL:0577-33-8333



プログラム

- 1 事例報告～森の恵みに関する6事例を発表いたします。(裏面参照)
- 2 鼎談「森の恵みと全国育樹祭」

出演



今井 敏
(林野庁長官)



竹下 景子
(俳優)



稲本 正
(恵みの森づくりコンソーシアム会長)

- 3 パネル展示 事例報告各団体および関連団体の活動紹介パネル展示

■主催：森林たくみ塾 ■協賛：岐阜県、高山市、高山市美しい森づくり実行委員会 ■後援：林野庁
お問い合わせ先：森林たくみ塾 TEL:0577-68-2300 MAIL:tsukuda@takumijuku.com

『森の恵みと全国育樹祭』 プログラム

13:00 開場

13:30 開演

開会挨拶 主催者

来賓挨拶 上手 繁雄（岐阜県副知事）

歓迎の言葉 國島 芳明（高山市長）

●プログラム1. 事例報告～森の恵みである「木材」から「空間」までの利活用

13:45～

《事例発表・概要》

①「恵みの森づくりコンソーシアムの活動」

岐阜の美しい森林を未来に残すために、理念を同じくする者が共に知恵を絞り、助けあうことを通じて、幅広い森林資源の価値に注目して活用を進め、環境教育を含め、里山・奥山林の持続的な保全と活用を目指しています。竹下景子さんには顧問に就任いただいています。



②「根尾の広葉樹活用プロジェクト」

国の天然記念物にも指定されている根尾の淡墨桜を管理している森林業者と、広葉樹の森の持続可能な利活用を産業として定着させるべく、オークヴィレッジが中心となって仕組みづくりに動いています。



③「日本の森から生まれたアロマ」

森林では資源として見向きもされなかった灌木や枝葉から、精油などを抽出している事業です。クロモジやニオイコブシは日本を代表する香りとして、アマン東京やレクサスブレンドとして採用され、人の心身の健康に関連した、最新の研究成果も交えた発表です。



④「飛騨五木」という新ブランドの可能性」

「飛騨五木」とは、昔から飛騨の建築材として馴染みのある「杉・桧・栗・ケヤキ・姫子松」の5つの木を指します。「地域で愛され、旅する五木」を理念に地域材の利用拡大をめざし、得られた資金を森林を守り育てるために再投資することで、森林の長期的で循環的な利活用を目指します。



⑤「トヨタ白川郷自然学校について」

トヨタ自動車が10年前に立ち上げた自然学校。「共生」をキーワードに地域社会に根差した社会貢献活動の実践の場であり、人を育てる活動をおこなう施設です。大白川の雄大な原生林を活用したプログラムのように、森林の多面的機能の「空間利用」を積極的に推し進めています。



⑥「木と森を支える人づくり」

森林たくみ塾は、25年間にわたる活動で240人の卒業生を全国に送り出しました。「つくることだけ」でなく、なるべく視野を広く持ち、モノづくりの力を世の中に幅広く役立てることができ、人材の養成をしています。森林、林業やアロマ素材の収集にまでその活躍の場は広がっています。



●プログラム2. 上記事例報告を踏まえた鼎談「森の恵みと全国育樹祭」

14:30～

出演： 今井 敏（林野庁長官）/ 竹下 景子（俳優）/ 稲本 正（恵みの森づくりコンソーシアム会長）

15:30 閉会挨拶 主催者

●プログラム3. パネル展示

■事例報告各団体および関連団体の活動紹介パネル展示

日時：2015年8月9日（日） 開催時間内 ※大ホール前にて